第3回市民学校 受講生を募集

5月11日から中央公民館で

ゆとりを持って、学ぶ気持ちを忘れずに生きていくことは、今のような目まぐるしい時代にこそ、特に大切なことといえます。知ることの楽しさ、新しい発見をすることの素晴らしさを、あなたも感じてみませんか。

今年も市立中央公民館では「第三回南国市民学校」を、次の日程で行います。多くのかたがたの参加をお待ちしています。

◪**日時**・五月十一日（水）～二十七日（金）までの毎週水、金曜日。午後七時～九時。

◪**場所**・市立中央公民館（市民体育館隣）

◪**受講料**・無料

◪**申し込み先**・希望者は、ハガキに「市民学校受講希望」、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、南国市大埇甲二一二五市立中央公民館まで申し込んでください。

第3回南国市民学校日程

日	時間	演題	講師
5月11日(水)	19:00～21:00	肌で触れた中東情勢	上村浩氏 高知新聞論説委員
13日(金)	〃	現代マナー	谷沿正子氏 全日本作法会教授
18日(水)	〃	映画との出合いとわが人世	星加敏文氏 映画評論家
20日(金)	〃	同和問題の基本認識について	藤中正雄氏 県教委同和教育課長
25日(水)	〃	田村遺跡の水田が語りかけるもの	岡本健児氏 高知女子大学教授
27日(金)	〃	星を見つめて	関勉氏 天文研究家

講師のことば

肌で触れた中東情勢

上村浩

中東は世界の火薬庫と言われています。その中東にあって、イスラエルの存在は導火線の一つになっています。現に、レバノン侵攻問題を起こしていますし、過去には石油ショックの引き金になった分も含めて四回の中東戦争で一方の当事国となっています。

わずか四国程度の小国が国際不安のタネとなり続けているのはどうしてなのか。現地取材の体験をも踏まえながら、中東およびイスラエルの現実や歴史、問題点の所在などを探ってみたいと考えています。

現代マナー

谷沿正子

現代生活にふさわしい暮しの中での幅広い作法の基本的なこと。作法の基本とは「心」を自然に表現させる形です。この形が、まごころと共に美しくあるためにはその基として正しい自然の姿が大切です。自分を大切にすると同時に人をも尊重すること、そしてきびしく自己の人間性を高めていく生き方から心をあらわし、伝える方法として美しい言葉、美しい立ち居振る舞いなどを形として現わしていくことです。

現代生活にマッチした人と人とのスムースな交際の心得や、冠婚葬祭とか正式な場に出る時の心得をお話していきたいと思います。

映画との出合いとわが人世

星加敏文

戦前の学生時代、野村芳太郎監督との出会いが、戦後、森谷司郎監督との出合いにつながり「漂流」高知ロケが生まれた。川谷拓三、中島丈博、倉本聰さんたち、そしてピンキーとの出合いなど、またヒット作「鬼龍院花子の生涯」高知ロケの裏話などを通して、活動写真の幼児時代から現在までの「映画界の盛衰」を体験的に探ってみたいと思います。

果して手短かに訥弁な私がお話できるかどうか、お楽しみといったところです。

同和問題の基本認識について

藤中正雄

一、差別の概念と部落差別の特徴
二、近代社会における部落差別とは。
(一)職業選択の自由
(二)教育の機会均等を保障される権利
(三)居住および移転の自由
(四)結婚の自由など
三、同和問題と私たちの生活とのかかわり
(一)わたしたちの人権意識
(二)わたしたちのくらしと同和問題

田村遺跡の水田が語りかけるもの

岡本健児

田村遺跡から弥生時代の水田が発見された。この水田から我々は、古代の生活と弥生人の体格等を知り得ることができるのである。この水田を中心に、田村遺跡群における弥生前期の生活を少しばかりかいまみてみようと思います。

星を見つめて

関勉

一九七五年の夏、天の川の中に一つの星が爆発して輝き始めた。これが新星といわれる天体で、その新星の発見談から始まって、謎の多い宇宙の構造について考える。

一方「天界の風来坊」といわれるすい星を発見しようと思うようになった、少年の頃から現在までの天文研究生活を振り返って、人間の生きがいについて語る。そして、今話題のハレーすい星を中心にいろいろな天体現象や、望遠鏡の知識などについて話します。